

## 平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス  
 コード番号 6871 URL <http://www.mic.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 長谷川 正義  
 (氏名) 齋藤 太

TEL 0422-21-2665

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	21,170	50.2	2,378	347.5	2,564	358.7	2,065	376.6
25年9月期第3四半期	14,094	△22.3	531	—	559	—	433	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 3,560百万円 (150.9%) 25年9月期第3四半期 1,418百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	107.15	104.20
25年9月期第3四半期	22.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	32,260	18,034	52.2
25年9月期	29,321	13,943	44.3

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 16,843百万円 25年9月期 12,982百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	30.0	2,600	85.9	2,700	77.2	2,100	90.7	108.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	20,012,658 株	25年9月期	20,012,658 株
26年9月期3Q	488,364 株	25年9月期	1,021,752 株
26年9月期3Q	19,272,499 株	25年9月期3Q	18,991,013 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する説明 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する説明 .....	2
( 3 ) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	7
( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
( 継続企業の前提に関する注記 ) .....	8
( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ) .....	8
( セグメント情報等 ) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は緩やかな回復傾向にありましたが、今後の先行きについては、米国の量的金融緩和縮小、欧州・新興国で懸念される政治的混乱や新興国の成長鈍化等から不透明な状況にあります。一方、日本経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に伴う一時的な反動はありましたが、政府政策による円高是正等を背景に企業収益の改善や個人消費が増加する等、緩やかな回復基調が続きました。

半導体市場においては、スマートフォンやタブレット端末向けの需要が堅調に推移しました。特にDRAMは、上期において一部大手メモリーメーカーの供給問題により需給が引き締まったことや、新興国のローエンドスマートフォン向けの需要が旺盛だったこと、PC向け需要の下げ止まり等もあり、生産は例年に比べ活発でした。また、微細化に向けた設備投資も積極的に進められました。

一方、FPD市場は、4K対応液晶テレビの投入に伴う新品種パネルの量産開始がありましたが、全般的にはテレビの販売不振から大型液晶パネルの生産調整が続き、需要の不透明感が影響したため、限定的な設備投資が継続しました。

このような状況の下、当社グループは、事業構造改革を完結させ、“継続的收益を生む体質となる”ため、売上増加と利益確保、継続的原価低減、効果的投資の実行等に取組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高21,170百万円（前年同期比50.2%増）、営業利益2,378百万円（前年同期比347.5%増）、経常利益2,564百万円（前年同期比358.7%増）、四半期純利益2,065百万円（前年同期比376.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### プローブカード事業

プローブカードは、主にスマートフォンやタブレット端末向けアドバンスドプローブカードの需要が好調で高水準な受注・売上となりました。利益面では、年明け以降において費用のかかる開発案件や新規品がありましたが、高い稼働率と前連結会計年度からの生産効率向上の取組み等が利益率を押し上げました。

この結果、売上高は17,537百万円（前年同期比49.4%増）、セグメント利益は3,755百万円（前年同期比83.0%増）となりました。

#### 装置事業

LCD検査装置は、全般的に厳しい事業環境が継続し、受注・売上ともに低水準でした。半導体検査装置は、NANDメーカーの設備投資が活発化し、BISTテストの需要が堅調に推移しました。プローブユニットは、4K対応液晶テレビの需要増を受けて売上・利益ともに比較的好調でした。

この結果、売上高は3,633百万円（前年同期比54.3%増）、セグメント利益は51百万円（前年同期は427百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,938百万円増加し、32,260百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,476百万円、投資有価証券評価額の増加1,486百万円等によるものであります。

#### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,151百万円減少し、14,225百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,090百万円増加し、18,034百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1,875百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,423	8,900
受取手形及び売掛金	6,890	6,872
製品	366	427
仕掛品	2,017	2,302
原材料及び貯蔵品	582	613
その他	1,204	416
貸倒引当金	60	74
流動資産合計	18,425	19,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,146	4,071
機械装置及び運搬具(純額)	1,723	1,404
その他(純額)	2,038	2,875
有形固定資産合計	7,908	8,350
無形固定資産		
投資その他の資産	955	925
投資有価証券	1,703	3,189
その他	553	557
貸倒引当金	223	221
投資その他の資産合計	2,033	3,525
固定資産合計	10,896	12,801
資産合計	29,321	32,260
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,887	3,041
短期借入金	3,137	2,852
未払法人税等	146	263
賞与引当金	442	265
製品保証引当金	470	522
その他	1,373	2,118
流動負債合計	10,459	9,064
固定負債		
社債	90	60
長期借入金	2,885	2,559
退職給付引当金	1,221	1,341
その他	720	1,200
固定負債合計	4,918	5,161
負債合計	15,377	14,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	5,769	6,095
利益剰余金	2,364	4,239
自己株式	953	459
株主資本合計	12,199	14,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	841	1,806
為替換算調整勘定	58	143
その他の包括利益累計額合計	782	1,949
新株予約権	217	75
少数株主持分	744	1,115
純資産合計	13,943	18,034
負債純資産合計	29,321	32,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	14,094	21,170
売上原価	9,360	13,415
売上総利益	4,733	7,755
販売費及び一般管理費	4,201	5,376
営業利益	531	2,378
営業外収益		
受取利息	3	13
受取配当金	5	7
受取賃貸料	37	37
為替差益	63	200
その他	16	13
営業外収益合計	126	272
営業外費用		
支払利息	69	62
その他	29	23
営業外費用合計	99	86
経常利益	559	2,564
特別利益		
新株予約権戻入益	31	7
その他	3	0
特別利益合計	34	8
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	0	6
特別損失合計	5	7
税金等調整前四半期純利益	588	2,566
法人税、住民税及び事業税	72	227
法人税等調整額	14	19
法人税等合計	87	246
少数株主損益調整前四半期純利益	501	2,319
少数株主利益	67	254
四半期純利益	433	2,065



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	501	2,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	337	965
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	580	275
その他の包括利益合計	917	1,240
四半期包括利益	1,418	3,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,226	3,232
少数株主に係る四半期包括利益	192	327

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	プローブ カード事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,739	2,354	14,094	-	14,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	11,739	2,354	14,094	-	14,094
セグメント利益又は損失 ( )	2,052	427	1,624	1,092	531

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 1,092百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	プローブ カード事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,537	3,633	21,170	-	21,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	17,537	3,633	21,170	-	21,170
セグメント利益	3,755	51	3,806	1,427	2,378

(注)1. セグメント利益の調整額 1,427百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。